



第2辑 日本语言·文化·传播丛书

日语情态表现之研究：  
以「言いさし文」为中心

林茜茜 著

中国传媒大学出版社





第2辑 | 日本语言·文化·传播丛书

中国传媒大学人文社会科学青年学者出版资助项目

林茜茜 著

# 日语情态表现之研究： 以「言いさし文」为中心

中国传媒大学出版社  
· 北京 ·

## 图书在版编目(CIP)数据

日语情态表现之研究:以「言いさし文」为中心/林茜茜著.

—北京:中国传媒大学出版社,2016.2

(日本语言·文化·传播丛书)

ISBN 978-7-5657-1575-4

I. ①日… II. ①林… III. ①日语—研究 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2015) 第 318918 号

## 日语情态表现之研究:以「言いさし文」为中心

RIYU QINGTAI BIAOXIAN ZHI YANJIU: YI “YIYISASHIBUNN” WEI ZHONGXIN

---

著 者 林茜茜

责任编辑 张 旭

责任印制 阳金洲

封面设计 大鹏设计

出 版 人 王巧林

---

出版发行 中国传媒大学出版社

社 址 北京市朝阳区定福庄东街1号 邮编:100024

电 话 86-10-65450528 65450532 传真:65779405

网 址 <http://www.cucp.com.cn>

经 销 全国新华书店

---

印 刷 北京易丰印捷科技股份有限公司

开 本 710mm×1000mm 1/16

印 张 11.75

版 次 2016年2月第1版 2016年2月第1次印刷

---

书 号 ISBN 978-7-5657-1575-4/H·1575 定 价 49.00 元

---

版权所有

翻印必究

印装错误

负责调换

## 序 章

日本語は学習開始時に「従属節＋主節」で表す言い切り文の学習をすることがほとんどであるが、実際行われる日本語の会話においては、次のように接続助詞のみで終結した文がしばしば見られる。

### 例 (1)

M02 これ、何が見える？

M01 あんねー、とりあえずあれが一（うんうん）、うちの図書館？

M02 うん。

M02 でかいねー。

M01 ちゃう、あれだよ、ゆっても、国公立大で一番（うん）コンピューターのある大学らしいから。

### 例 (2)

M01 こっから近いように見えるけど、とう（うん）、途中ですごい上り坂があつて。

M02 うん。

M01 心臓破りの上り坂があつて、多分 2、3 回休憩するよ。

M02 歩いて行ったら？。

例 (3)

M01 ドラマだって、今、何見とるん？。

M01 『元彼』の、くも、今日>{<}【】。

M02 【】くあー、『元>{<} 彼』見とるねー。

M01 おれ、全然、あんまだけど。

例 (4) ( 渡辺 哲のブログ 灼熱の京都 )

今日はオフ、朝からチャリで一時間かけて修学院離宮へ行った。  
ところが桂離宮と同じで宮内庁に申請しないと見学駄目との事、知ってました？  
まあ、トレーニングがてらだからいいけど。  
塀越しに見ても凄くいいから、一度行ってみるといいですよ。(ホント疲れた)

例 (5) ( 渡辺 哲のブログ 偶然 )

電撃で魅せる過激さとは裏腹のもの静かさは相変わらず魅力的であった。  
多数の海外公演でまた大きくなった気がした。  
こっちも頑張らねば。

例 (6) ( 渡辺 哲のブログ 反省 )

ブログ、各方面からもっと書くよう言われ、反省…。  
また書くよう誓いました。まあ見ていて下さい。  
裏切るかもしれませんが。(笑)  
来週から仕事、そろそろ気合い入れないと。  
まあ、頭ではわかってるんですが。

(1) は自然会話におけるカラ節、(2) は自然会話におけるテとタラ節、  
(3) は自然会話におけるケド節、(4) はブログにおけるケド節、(5) は  
ブログにおけるバ節、(6) はブログにおけるガ、ト節で終わる文である。

このような文の共通するところは、接続助詞で終結し、一見して不

完全であるように見えるにもかかわらず、意味的には完全な文として相手に伝わり、1つの独立文として機能を果たすという点である。

本来、「接続助詞」とは助詞の分類の1つで、主に活用語に下接して、文や節を下の方の文・節に接続し、条件・並列などの意を表す助詞である。（『広辞苑』第六版、p.1576）

そのため、普通には接続助詞は、文の最後ではなく文中に現れ、文の主節と接続し、そのあと文の従属節が来るのが一般的である。ところが、実際の会話の中では接続助詞で終わる文（「言いさし」文と呼ばれる）が多く用いられ、形式的には不完全であるが、意味的には完全な文となる。日本語の会話の中ではこのような表現が非常に多い。このような言いさし文は日本語学習者にとっては、習得しにくい表現の1つである。なぜこのような表現の仕方をするのかという疑問がたびたび頭に浮かびあがる。

# 目 录 >>>> CONTENTS

## 序 章 / 1

### 第一部 言いさし文の概観 / 1

1. 研究目的 / 1
2. 研究対象 / 2
3. 先行研究 / 4
4. 語用論的な研究 / 28
5. 先行研究の問題点及び研究方法 / 35

### 第二部 言いさし文の様態と構造 / 42

#### 第1章 自然会話における言いさし文の男女差 / 42

1. 分析資料と対象 / 42
2. 調査結果 / 43
3. 結果分析—自然会話における言いさし文においての  
男女差 / 57
4. まとめ / 61

## 2 >>>> 日語情態表現之研究：以「言いさし文」为中心

### 第2章 言いさし文における日常会話とブログの比較 / 62

1. 自然会話における言いさし文 / 63
2. ブログにおける言いさし文 / 90
3. 自然会話とブログの比較 / 105
4. 言いさし文の構造 / 112

### 第三部 言いさし文とモダリティ / 114

1. モダリティの定義と分類について / 114
2. 従属節におけるモダリティについての研究及び問題点 / 120
3. 言いさし文におけるモダリティ / 128

### 結 論 / 173

1. 結論 / 173
2. 今後の課題 / 176

### 参考文献 / 177

## 第一部 言いさし文の概観

### 1. 研究目的

自然会話における言いさし文とブログにおける言いさし文のそれぞれ具体的な発話場面での働きを観察することを通して、文の形の側面から見れば、接続助詞「ケド」、「カラ」、「テ」、「シ」などで文を終わらせることによって不完全な文のように見えるにもかかわらず、意味の側面から見れば、伝えたい内容をすべて相手に伝え、完全文と同様の役割を果たす機能を明らかにしたい。

本研究では、語用論と認知言語学の観点から、現代日本で使用される言いさし文の諸相について分析することによって、以下の点について明らかにしたい。

具体的に整理すると、次のとおりである。

自然会話における言いさし文の男女差があるかどうかを考察する。

自然会話における言いさし文とブログにおける言いさし文のそれぞれの特徴及び異同を比較する。

言いさし文を省略されたものとして考えず、モダリティの1つ—「ほのめかし」として捉える仮説を提示する。例文を挙げながら、この仮説の妥当性を論証する。

自然会話における言いさし文及びブログにおける言いさし文の分析に基づき、上記の3項目について論じたい。

## 2. 研究対象

自然会話における言いさし文については、宇佐美まゆみ研究室が公開した『BTSJによる多言語話し言葉コーパス—日本語1（日本語母語話者同士の会話）』（2007年版）に基づき、中から接続助詞的なもの（例：シ、タリ、ケド、ガ、ノデ、カラ、テ、ト、バ、タラ、ノニ）で終結した文を抽出し、自然会話における言いさし文のデータを作成する。

ブログにおける言いさし文については、インターネットを利用してブログに現われた接続助詞的なもの（例：シ、タリ、ケド、ガ、ノデ、カラ、テ、ト、バ、タラ、ノニ）で終わった文（「言いさし文」と呼ぶ）を収集し、ブログにおける言いさし文のデータを作る。

本研究は、自然会話における言いさし文のデータおよびブログにおける言いさし文のデータを分析し、接続助詞が終助詞のような働きをしている言いさし文を対象とする。例えば、次のような例である。

例(7) （渡辺 哲のブログ カミさんと旅に出た）

当日朝、家を出るまでが大変。私は5分で準備終了だが、カミさんの持ち時間はプラス15分が相場。

メイク、着る物などなどごちゃごちゃ考えて、その上ああでもない、こうでもない。

本研究は接続助詞的なもの（例：シ、タリ、ケド、ガ、ノデ、カラ、テ、ト、バ、タラ、ノニ）で終わる文を言いさし文という。言いさし文は最後まで言語情報を提供するのではなく、言いさす文脈を通して言いさされた文脈が復元可能と考えられる文である。

本稿では、言いさし文を「Z + X + C + M + Y」と表すことにする。

例 (7) に基づき、具体的に説明すると、

「Z」は全体の先行文脈と言い、「既定場面」として設定されて、言いさされた部分を復元するには欠くことができない情報である。例 (7)「当日朝…15 分が相場」の部分が先行文脈である。

「X」は言いさす文脈であり、先行文という。例 (7)「メイク…こうでもない」の部分は「X」の表れである。

「C」は文の接続助詞的なものである。ここではシ、タリ、ケド、ガ、ノデ、カラ、テ、ト、バ、タラ、ノニのこととする。例 (7)「ト」は「C」のことを指す。

「M」は言いさし文の文末のマークである。例えば、「(笑)」、「さまざまな絵文字」、「♪」符号など、これは文字化された自然会話における言いさし文には現われず、ブログにおける言いさし文の 1 つの特徴と見られる。

「Y」は言いさされた情報を示す。伝達者が音や文字にして表現しなくても、相手が察してくれて伝達したいことが伝わるだろうという期待に基づいている。言いさされた情報を復元しなくても、その意図は相

手に確実に伝わる。これが言いさし文の特徴である。例(7)では言いさされた情報は「メイク(中略)こうでもないと頑張っている。」と想定できる。同時に例(7)では「メイク(中略)こうでもないと女の人は大変だな。」とも想定できる。このブログの中では想定が1つには限らなく、さまざまな可能性があるが、自然会話の中では、伝達したいことはほとんど相手に確実に伝わる。

### 3. 先行研究

接続助詞で終わる言いさし文に関する先行研究は様々な角度から行われてきた。それでは、それぞれの言いさし文の先行研究を見てみよう。

#### 3.1 「ケド」に関する研究

##### 3.1.1 「ケド」節の本来的用法

言いさし用法の「ケド」を分析する前に、国語辞典を参考にし、本来の接続助詞としての用法を見てみよう。

##### 「けれども」(接続助詞)

文語形容詞の已然形語尾「けれ」+ 接続助詞「ども」。くだけた言い方では、「けれど」、「けども」、「けど」となる。

①後件が、前件から予想される事柄とは、逆の展開であることを対比的に示す。また、単に前件と後件とを対比的に示す。

「値に張るけれども、質もいい。」

「パリもいいけれども、ウイーンもいい。」

②断りを前置きとして述べ、話の導入とするのに使う。

「いつものことだけれども、実はお金がない。」

(『学研現代新国語辞典』改定第三版、p.412)

### 「けれども・けれど」(接続助詞)

①語源について「けれ」は定めが難しいが、「ども」が逆接の既定条件を示す接続助詞であるから、基本的な用法は逆接であるが、

「酒もいいけれどもワインもいい。」

のように前文と後文と対比的に示す場合や、

「人から聞いた話だけれども例の空き地にビルが建つそうだ。」

のように逆接とはならず、前置きや単なる接続を示す場合もある。

②「けれど」は「けれども」よりくだけた感を伴う。

(『現代国語例解辞典』第三版、pp.1393～1394)

### 「けれども」(接続助詞)

活用語の終止形に付き、前に述べた事柄から続くと考えられる事以外の事が後に続く意を表す。…だが。

四河入海「あながちかくの如くすることはあるまいけれども、父母に孝なることは老萊の如くなと云ふ心ぞ。」

(『広辞苑』第六版、p.892)

上記の「ケド」について本来の用法を見ると、3つに分類される。第一に、「確かに失敗だったけれども、絶望はしていない。」の例のように、前件「確かに失敗だった」と後件「絶望はしていない」は内容的に対立している。逆接の「ケド」は接続助詞「ケド」の用法の中で一番多く見られ、典型的な使い方である。

第二に、「酒もいけれども、ワインもいい。」の例のように、前件「酒もいい」に比べ、後件「ワインもいい」は前件と同類の事柄を述べた上で、前件と後件は対比的な機能を果たす。

第三に、「いつものことだけれども、実は金がない。」の例及び「人から聞いた話だけれども、例の空き地にビルが建つそうだ。」の例から見ると、前件は前置きとして提供し、「けれども」を用いて後件は前件の後に接続し、話を更に展開していくことを示す。

### 3.1.2 「ケド」節の終助詞的用法

前節で接続助詞「ケド」の本来的用法について分析した。接続助詞「ケド」で終結した文（言いさし文）、「ケド」を終助詞に使っている文についての研究は近年顕著に見られ、さまざまな側面から行われている。

「ケド」の終助詞的な用法については、多くの辞書で接続助詞の用法と別の項目を立てて述べられ、接続助詞の用法以外に、1つの独立の用法として記述している。

「けれども」:(終助詞)

(前略) 言いさしの形で、終助詞的にも使う。

「何と言っていいかわかりませんけれども…」

(『学研現代新国語辞典』改訂第三版、p.412)

「けれども」:(終助詞)

(前略) また、「明日は都合が悪いですけれども」のように言いさしの形や「父が生きていてくれたらいいんですけれども」のように願

望の意味を表す終助詞的な使われ方もする。

(『現代国語例解辞典』第三版、p.1394)

「けれども」(終助詞)

(前略) 言いさしの文の最後に付けて、ためらったり相手の反応を待ったりする柔らかな表現。

例:「私はいいいと思いますけれども。」

(『広辞苑』第六版、p.892)

### 3.1.3 「ケド」節の言いさし表現の先行研究

「ケド」で終わる言いさし表現を巡っては、近年多くの学者が注目し、さまざまな研究がなされてきた。佐藤(1993)、成田(2001)、内田(2001)、永田・大浜(2001)、曹(1998)、曹(2000)等を取り上げる。

#### 佐藤(1993)について

佐藤(1993)は、ビデオ教材の用例を対象に分析、考察を行った。その結果、この形態の言いさしの主な機能として、談話レベルでは、以下の結論を得た、と指摘している。

- ①暗示的情報要求の送信
- ②明示的情報要求に伴う禁忌と侵犯の回避
- ③敬語の過剰使用の回避
- ④依頼や勧誘における目的達成の方略としての明示的情報要求の回避

⑤ 討論での turn 譲渡における turn-taking 強制の回避 (p.39)

成田 (2001) について

成田 (2001) は、トーク番組で観察された「ケド」で終わる談話を分析し、話し手のこのような発話が談話の中でどのような働きをしているのか、「ケド」に含まれる話し手の気持ちと「ケド」で終わることによる効果の 2 つの観点から分析し、その結果は以下のようなものである。

①相手の質問に対する答えとして、いま自分が言った事が適当であったか（相手はこのような答えを期待していたのだろうか）という、話し手の気持ちを表すものがあること。

②話し手の発話から聞き手が間違った判断をしてしまったと、話し手が理解したときに、その間違った判断を正しいものにするために使われるということ。

③文の最後に「ケド」をつけることにより、直接的すぎる質問を柔らかく、遠回しにしたり、はっきりと言葉では表しにくい話し手の気持ちを、聞き手に効果的に伝えているのではないだろうか。

④答える文を「ケド」で終わらせることは、話し手にとっては「ケド」の付いた文で言いたかった事と同時に、その文に隠された話し手の本当の気持ちを聞き手に効果的に伝えるのに役立っていると思う。また、聞き手にとっては、文の最後に「ケド」が付くことにより、「ケド」の後に隠されている話し手の気持ちを推測するのに役立っているのではないだろうか。

⑤「ケド」で終わらせることにより、話し手の気持ちを一方的に伝えるのではなく、聞き手に話権を渡し、聞き手の自由な判断でその後

の発話を続けられるようにしているのと思う。

⑥「ケド」で終わることにより、聞き手にとっては「ケド」が付かない言い切りの形と比較すると、話し手が遠慮がちに話している感じがし、また、柔らかい印象を持つのに役立っている。話し手自身も、「ケド」で終わる表現をすることにより、遠慮がちに話しているという気持ちを伝えるのに役に立っていると思う。(pp. 31～35)

### 曹(1998)について

曹(1998)は言いさしの「ケド」の談話機能がどのような場面において現われやすいかという観点から下記のように述べてきた。

①非実現を表す場合：話者の考えまたは意図が実現しないことを表す場合。

②不納得を表す場合：話者にとって好ましくない状況を表す場合。現実の好ましくない状態を意識し、好ましい状況になるように願う気持ちを表す場合。話者の意志が実現されない妨げの状況があることを表す場合。

③相手に対する働きかけを表す場合：聞き手に何らかの行為を行うよう求める、または勧める場合。聞き手に許可を得るための要請をする場合。聞き手に情報を求める場合。(pp. 80～83)

### 曹(2000)について

曹(2000)は言い終わりの「ケド」を中心に語用論の観点から、言い終わりの「ケド」の談話機能を分析した。

①「発話緩和」：聞き手の感情を害するような発話を和らげる機能であり、聞き手または第3者の発話に対し否定反応したり、聞き手の